

## 「夢のカリーテンプル完成まで、あと一歩！」



今回、6月4日～より8日まで現地視察と打ち合わせのためインド・ブダガヤを訪れました。既にカリーテンプルニュースVol. 1で報告いたしましたように、昨年12月に建物の基礎工事が始まって6ヶ月がたちました。前回訪れた2月には、1階部分の壁などレンガのままの荒々しいさわれば手が切れる程のざらざらしていた表面でした。そんな壁もレンガの上からモルタルセメントが塗られ、またその上に塗装の下地となる白セメントが塗られますと、もう完成したのかと見間違ふほどの姿になって驚かされました。このほかにも、驚かされたことがありました。宿坊は2階建ての予定だったが、2階の円形の屋根部分の壁に窓があるではありませんか。なんと、2階の上に屋根裏部屋が出来ていたのです。理事長であるジャット・プラサド氏の弟のオームさんが、宿泊者のための多目的に使える部屋になればと考えてくれたものです。この部屋の窓からは、大塔が見え思ったよりも大きな部屋となっています。宿坊の工事は、床材の大理石が全体の80%近くが敷かれ完成も間近です。本堂は写真のように1階部分のレンガ組の途中です。7月現在では、おそらく2階吹き抜け部分まで完成していることと思います。当初の予定通りの進み具合に、一安心といったところです。合掌



2階屋根裏部屋の窓



1階ロビー



レンガ組の本堂

### ~~~~~ブダガヤ・ファミリー~~~~~

今回の視察は、タイ経由でカルカッタから列車に乗り夜の11時すぎにガヤ駅に到着。ブダガヤに着いたのが12時前それでもオームさん以下スタッフ達がそろって迎えてくれた。ホテルのロビーでチャイを飲み、一休み。奥から懐中電灯を持ったオームさんが「さあ、荷物を置いて現場を見に行こう」と言う。「こんなに遅くに」と言うと、「今見ておかないと気になって眠れないよ」と言う。クタクタでこの椅子の上でもすぐに寝られるのにと思いつつ、「ビックリさせるために一生懸命やってきたんだ。さあ、見てくれ！」と言わんばかりの彼らの目に重い足を引きずり現場へと向かった。滞在は、たったの24時間であったが、1日一緒に仕事をする内にまた一つお互いの信頼が深まるのを感じた。夜、オームさんの誕生日に乾杯をし、11時発の列車に乗るべくガヤ駅へと急いだ。

## 「夢のカリーテンプル建立に、 1,256人の善意が寄せられています。」

これまでに「夢のカリーテンプル建立資金」にと、全国各地より1,256人の皆様から、総額¥13,004,170-(6/30現在)のご寄付を頂きました。！ありがとうございました。しかし会の目標としてまいりました募金総額¥30,000,000-には、まだまだといった状況です。！

是非とも皆様から、お友達お知り合いの方々にもお声をおかけいただき、一層のお力添えをお願い申し上げます。